

## 再始動の日

5月25日、全国すべての緊急事態宣言が解除されました。1月から始まった新型コロナウイルス感染症感染防止の戦いは、市民の皆さまの健康と命を守ることを最優先にこれまで取り組んでまいりました。この間、皆さまには大変なご不便やご心労をおかけしてきましたが、良識と自覚ある行動のおかげで、市内及び飛驒地域では、感染者ゼロを維持してきております。これもひとえに、皆さまのご理解とご協力の賜物とあらためて感謝を申し上げます。

しかしながら、この闘いは終わりではなく、ワクチン開発までの長期戦の始まりでもあります。

国から示された「新しい生活様式」は、コロナと共生する新しい日常において、私たちが実践しなければならない項目が明記されています。

これまで、私たちが実践してきたマスクの着用、手洗いの徹底、三密の徹底回避といった基本に加え、対面ではなく横並びの配席の推奨や、大皿料理を避けて小分けにして提供するなど、様々な生活シーンで注意すべきことが細かく明示してあります。これから徐々に開催が増えていく宴席でも、これまで声高らかに唱和した祝い唄のめでたや、互いの交流を深めた返杯といった飛驒ならではの習わしも当面は封印しなければなりません。

新しい生活様式のポイントは、5月22日の新聞折り込みで配布した冊子、本日発行の広報たかやま、市のホームページにも掲載しています。とても重要なことですので、まだ御覧になられていない方は、ご一読をお願いいたします。

私たちはこれまで感染拡大予防のために、すでに多くの犠牲を払ってきました。

外出や営業の自粛は経済的な損失を、小中学校や保育園の休校・休園は子どもたちの学びや育ちの機会を、多くの行事やイベントの中止は人々の楽しみや交流を奪いました。

本日6月1日は、主に市民が利用する市施設や学校など緊急事態宣言で止まっていた様々なサービスが新しい生活様式に基づく感染防止策を講じた上で、再開される日です。

また民間においても、宿泊業や飲食業、公共交通の多くが本日から営業再開されると聞いております。

コロナで失ったものを皆さまと共に、これから一つ一つ取り戻しに向かっていますが、当面は第2波を警戒しながら段階的に、そして今までと違う新しいアプローチを工夫しながら社会経済活動の回復を目指してまいります。

本日開会の市議会6月定例会には、コロナ対策関連の条例案、予算案を提出して審議いただくことになっています。

社会経済活動の確かな回復を目指すため、更なる追加政策も現在検討しており、迅速に講じてまいります。

皆さまには、ご自身と大切な人を守るため、引き続き感染予防にご留意いただきつつ、元気な高山を取り戻すための再始動に向け、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に岐阜・長野県境付近を震源域とする地震が多発しています。

気象庁等によれば、この地震における焼岳の火山活動には大きな変化はないとのことですが、この震源域付近の群発地震はこれまでも数か月間続いたことがありますので、警戒を続けてまいります。

これから暑さも本格化してきます。コロナの影響で自宅にいたことが増えてきていますが、水分をしっかり取って熱中症にもお気をつけください。

令和2年6月1日

高山市長 國島芳明